

比較日本学研究センター活動報告

【1】比較日本学研究センター運営委員会

- 4月11日 第1回運営委員会
5月31日 第2回運営委員会
6月28日 第3回運営委員会
11月21日 第4回運営委員会
1月23日 第5回運営委員会

【2】比較日本学研究センター研究委員会

- 4月11日 第1回研究委員会
5月31日 第2回研究委員会
6月28日 第3回研究委員会
11月21日 第4回研究委員会
1月23日 第5回研究委員会

【3】第9回国際日本学シンポジウム

テーマ 日本学研究の対話と深化Ⅱ
2007(平成19)年7月7日(土)～8日(日)
(理学部3号館701号室)

▽7月7日(土)

○13:15～13:30 開会式

○13:30～17:30 セッションⅠ

テーマ <日本>表象の交差 —ジャポニズムの文学と音楽—

司会 浅田徹(本学准教授)

研究発表 吉川順子(京都大学大学院生)

「和歌(やまとうた)とのたわむれ—『蜻蛉集』における翻訳手法とジュディット・ゴーチエの詩作—」

研究発表 浅田徹(本学准教授)

「『蜻蛉集』のための西園寺公望の下訳について」

研究発表 根来章子(本学大学院生)

「近代フランス音楽における日本の表象—ジュールジュ・ミゴ《Hagoromo》を例として—」

研究発表 片山杜秀(音楽評論家)

「作曲家大澤壽人のパリ時代—モダニズムと日

本趣味のはざままで—」

○17:30～18:30 懇親会(本学理学部3号館)

▽7月8日(日)

○11:00～17:30 セッションⅡ

テーマ ヨーロッパにおける日本美術史の成立と発展—フランス及びイギリスの主要な日本美術コレクションの果たした役割—

○11:00～12:00 公開講演会

クリストフ・マルケ(フランス国立東洋言語文化研究所教授・フランス国室極東学院東京支部代表)

「十九世紀後半のフランスにおける日本美術史学の黎明期—江戸時代の画譜や『浮世絵類考』から『日本帝国美術略史稿』までの受容—」

○13:30～17:30 研究発表

司会 ロール・シュワルツ＝アレナレス(本学准教授)

研究発表 鈴木廣之(東京学芸大学教授)

「誰が日本美術史をつくったのか?—明治初期における旅と収集と書き物—」

研究発表 永島明子(京都国立博物館研究員)

「フランスとイギリスの博物館で愛された日本の漆器 特にマリー・アントワネット蒔絵コレクションの成立と日本美術史上の役割について」

研究発表 彬子女王(オックスフォード大学東洋研究所博士課程)

「ウィリアム・アンダーソン・コレクション再考」

研究発表 ニコル・ルーマニエール(セインズベリー日本芸術研究所所長 東京大学大学院研究員)

「大英博物館所蔵日本の陶器コレクションの歴史」

全体パネルディスカッション司会 天野知香

(本学准教授)

【4】シンポジウム実行委員会

森山新、浅田徹、ロール・シュワルツ=アレナレス

【5】比較日本学研究センター公開講演会

第1回 公開講演会 (TV会議による)

日時 2008年(平成20年)1月23日

講演 ドラージ・土屋浩美(ヴァッサー大学助教授)

「グローバル時代における海外での日本文学の教え方—総合的日本語教育の実践に向けた一案—」

第2回 公開講演会 (TV会議による)

日時 2008年(平成20年)1月29日(火)

講演 鄭起永(釜山外国語大学日本語大学学長)
「21世紀における日本語教育の新しい傾向」

第3回 公開講演会

日時 2008年(平成20年)2月15日(金)

講演 徐翔生(台湾・国立政治大学専任助教授)
「武士道と儒教」

第4回 公開講演会

日時 2008年(平成20年)3月1日(土)

講演 丁珍娥(韓日歴史共同研究委員会・専門委員)

発表主題「韓国国内での日本史研究の概況」

【6】第2回国際日本学コンソーシアム

テーマ 日本学研究の現在と未来：国際的・学際的なネットワークの構築と活用

主催：お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム、女性リーダー育成プログラム(人文系)、比較日本学研究センター

2007(平成19)年12月17日(月)～19日(水)

▽12月17日(月) 会場 人間文化創生科学研究科棟(人間文化研究科棟)6階 大会議室(607号室)

○10:00～11:00 開会式

森山新(本学比較日本学研究センター長)

「国際日本学コンソーシアムについて」

古瀬奈津子(本学)

「大学院教育改革支援プログラムについて」

○13:00～15:25 第一分科(日本語学・日本語教育)

司会 高崎みどり(本学)

講演 趙順文(国立台湾大学)

「日中韓同形語の多義ネットワークの試案—〈節〉を例に一—」

研究発表

1. 金杉ペトラ(カレル大学大学院生)「日本語と英語における疑問文の形式と機能の対照」

2. 呉宣静(台湾大学大学院生)「随伴現象を表す類義表現の分析—「につれて」と「にしたがって」「にともなって」をめぐって—」

3. 百瀬みのり(本学大学院生)「中世期言語資料における接続詞『サテ』の様相について」

指導教員:趙順文(国立台湾大学)、マルティン・ティララ(カレル大学)、高崎みどり(本学)

○16:05～17:50 第2分科(日本文学・日本文化)

司会 小風秀雅(本学)

講演 ジョン・ブリーン(ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 SOAS)

「近世神道史の一齣：天台宗、延暦寺と日吉社について」

研究発表

1. 李洋(本学留学生・北京大学大学院生)
「明治憲法と伊藤博文」

2. 熊本幸子(本学大学院生)「空海における神仏習合思想」

指導教員:ジョン・ブリーン(ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 SOAS)、小風秀雅(本学)、

高島元洋（本学）、頼住光子（本学）

○18：00～20：00 歓迎レセプション（茗溪会館）

▽12月18日（火） 本館1階 生活科学部会議室（103号室）

○9：00～11：55 第2分科（日本文学・日本文化）

司会 菅 聡子（本学）

講演 スティブン・ドッド（ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 SOAS）

「あいまいな都市—梶井基次郎の作品における自己と他者」

研究発表

1. ダンカン・アダム（ロンドン大学東洋アフリカ研究学院SOAS大学院生）「三島由紀夫の身の上相談—三島の小説と女性誌との相関関係」
2. 李承京（淑明女子大学大学院生）「大正期 下層民と女性をめぐる〈本能〉の言説—有島武郎の『カインの末裔（1917）』と『或る女（1919）』を中心に—」
3. 許靈均（国立台湾大学大学院生）「『植民地』文学におけるジェンダーの考察への試み—安西冬衛の散文詩『軍艦茉莉』を中心に—」
4. 倉田容子（本学大学院生）「『羅生門』にみるジェロントフォビア（gerontophobia）の系譜」

指導教員：金善民（淑明女子大学校）、スティブン・ドッド（ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 SOAS）、趙順文（国立台湾大学）、菅聡子（本学）

○13：20～18：25 第1分科（日本語学・日本語教育）

司会 森山新（本学）

講演 尹福姫（同徳女子大学校）

「映画を利用した日本語教育」

徐一平（北京外国語大学日本学研究中心）

「中・日対照研究と日本語教育」

ウェイ諸石万里子（パデュー大学）

「内容中心教授法による日本語習得」

研究発表

1. 粟飯原美智（同徳女子大学大学院生）「日本語の会話能力スタンダード作りの必要性—中級の問題を中心に—」
2. 梁爽（北京外国語大学日本学研究中心大学院生）「笑いに関する日中対照研究—語用論と認知言語学の接点から—」
3. 高宮優実（パデュー大学大学院生）「ブログを使った言語文化教育の実践—総合活合活動型日本語教育をめざして—」
4. 菅生早千江（本学大学院生）「中上級日本語学習者の受益表現に対する暗示的訂正フィードバックの効果—リキャスト（言い直し）と自己訂正を促すフィードバックの比較」

指導教員：ウェイ諸石万里子（パデュー大学）、徐一平（北京外国語大学日本学研究中心）、尹福姫（同徳女子大学校）、森山新（本学）

▽12月19日（水）人間文化創生科学研究棟「6階大会議室（607号室）

理学部3号館7階（701号室）

○9：00～11：40 第2分科（日本文学・日本文化）

司会 古瀬奈津子（本学）

講演 金善民（淑明女子大学校）

「韓国における日本史研究の新傾向」

講演 マルティン・ティララ（カレル大学）

「『伊勢物語』と日本の美意識」

研究発表

1. 松下直美（本学大学院生）「源氏物語の贈答歌における呼応関係」
 2. 野田有紀子（本学リサーチフェロー）「平安貴族社会における祭装束の分配と作製」
- 指導教員：金善民（淑明女子大学校）、マルティン・ティララ（カレル大学）、平野由紀子（本学）、古瀬奈津子（本学）

○13：30～16：00 パネルディスカッション

テーマ 日本学研究の現在と未来：国際的・学際的なネットワークの構築と活用

講演 森山新(本学比較日本学研究センター長)

「日本学研究の現在と未来：国際的・学際的なネットワークの構築と活用」

司会・パネリスト 古瀬奈津子(本学)

パネリスト

趙順文(台湾・国立台湾大学)

ステイブン・ドッド(英国・ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 SOAS)

尹福姫(韓国・同徳女子大学校)

徐一平(中国・北京外国語大学日本学研究センター)

ウェイ諸石万里子(米国・パデュー大学)

金善民(韓国・淑明女子大学校)

マルティン・ティララ(チェコ・カレル大学)

ジョン・ブリーン(ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 SOAS)

森山新(本学比較日本学研究センター長)

○16：00～17：00 会議(今後の交流のあり方)

【国際日本学コンソーシアム参加大学】

ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(英国)、国立台湾大学(台湾)、カレル大学(チェコ)、淑明女子大学校(韓国)、同徳女子大学校(韓国)、日本学研究センター(中国)、パデュー大学(米国)、お茶の水女子大学(日本)

【コンソーシアム実行委員会】

森山新、古瀬奈津子